

# 第50回全国育樹祭 基本計画

【概要版】



第50回 全国育樹祭 あきた 2027  
緑育てる小さな一歩 未来へつながる大きな希望

令和8年3月



秋田県

## ■全国育樹祭の目的

全国育樹祭は、「継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、国民の森林に対する愛情を培うこと」を目的に、昭和52年から、全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、公益社団法人国土緑化推進機構との共催で毎年秋に行われている全国行事です。

全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木に、皇族殿下が枝打ちなどのお手入れをなされるシンボリックなお手入れ行事に加え、皇族殿下からのお言葉をいただくほか、各種表彰等の式典行事が催されます。

## 第2回全国育樹祭

第19回全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木への、皇太子同妃両殿下による施肥や各種行事が、第2回全国育樹祭として行われました。

- 【開催概要】 ●大会テーマ 育樹できずこころの郷土  
●開催日 昭和53年10月7日（土）  
●参加人数 4,484人  
●会場 仙北市（旧田沢湖町：県民の森）



【お手入れのご様子】

【式典開催状況】

## 第19回全国植樹祭

- 【開催概要】 ●テーマ 入会林野の整備と拡大造林の推進  
●開催日 昭和43年5月19日（日）  
●参加人数 14,500人  
●会場 仙北市（旧田沢湖町：大森山）  
※現在の「県民の森」



【式典開催状況】



【お手植えのご様子】

開催日の3日前に発生した十勝沖地震によって、ご出席が取りやめとなりました。前日、皇居で鉢にお手植えされた苗木は、後日式典会場へ運ばれ、移植されました。

## 第59回全国植樹祭

本県にとって2度目となる第59回全国植樹祭が北秋田市「県立北欧の杜公園」で開催され、天皇皇后両陛下による秋田スギ、ブナ、トチノキ、カツラ、ミズキ、ヤマモミジのお手植えなどが行われました。

- 【開催概要】 ●大会テーマ 手をつなごう 森と水とわたしたち  
●開催日 平成20年6月15日（日）  
●参加人数 11,471人  
●会場 北秋田市（県立北欧の杜公園）



【お手植えのご様子】

【式典開催状況】

■ 第50回全国育樹祭の開催理念と基本コンセプト

本県の森林資源は、江戸初期の秋田藩家老である渋江政光の遺訓「国の宝は山なり。然れども伐り尽くす時には用に立たず。尽きざる以前に備えを立つべし。山の衰えは則ち国の衰えなり。」に代表されるように、世代を超えて今日に至るまで大切に受け継がれています。

現在、こうした先人の努力により、植え、育てられてきた森林資源は充実し、本格的な利用期を迎えている中、本県では、森林資源の循環利用により、林業・木材産業の成長産業化と森林の有する多面的機能の持続的な発揮の両立を目指し、再造林の推進や次代を担う人材の確保・育成などに取り組んでいます。

また、平成20年に開催した「第59回全国植樹祭」や「水と緑の森づくり税」の創設を契機として、豊かな水と緑に包まれたふるさと秋田を未来に引き継いでいくため、森林環境と公益性を重視した森づくりや県民参加の森づくり活動を展開しています。

こうした取り組みに加え、本県では、全国一の面積を有するスギ人工林から産出される木材による製材品や集成材、合板だけではなく、豊富な広葉樹資源を活用した家具や床材、内装材などに至るまで、多種多様な優れた木製品が生産されています。

【3つの柱】

(1) 森林資源の循環利用促進

2050年ネットゼロの実現に向け、「伐って・使って・植えて・育てる」という森林資源の循環利用への取組が重要であることを広く伝えます。

(2) 豊かな水と緑の創造と未来への継承

次代を担う児童・生徒等を対象とした森林環境学習や木育イベントなど、多様な県民運動を一層推進し、森林・林業に触れ、親しみ、理解を深める契機とします。

(3) 「森と木の国あきた」の発信

これまで培われた高度な木材加工技術に加え、新たな技術開発や新製品の開発、木材利用の意義の普及啓発など、情報発信します。

第50回全国育樹祭 基本コンセプト



秋田県の豊かな森林

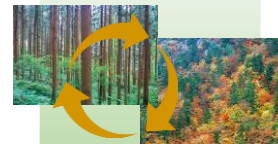
世代を超えて受け継がれる秋田の森林を育む心

「国の宝は山なり。山の衰えは則ち国の衰えなり。」

江戸初期の秋田藩家老である渋江政光の遺訓

第50回全国育樹祭 3つの柱

多様な森づくりと  
森林資源の循環利用



■ 「伐って・使って・  
植えて・育てる」という  
森林資源の循環利用の促進

次代を担う  
人材の確保と育成



■ 次代を担う児童・生徒  
等多様な県民運動の  
一層の推進

技術の伝承と開発  
と情報発信



■ 伝統的木材加工技術  
■ 新たな技術開発  
■ 木材利用の発信

豊かな森を守り育てる ▶ 未来への継承

大会テーマ

「緑育てる小さな一歩 未来へつながる大きな希望」

継続して森を守り育てること  
の大切さを普及啓発し、国民  
の森林に対する愛情を培う

県土の保全や環境を守る意識の高揚  
と美しい自然や歴史、文化、新鮮な  
農林水産物などの魅力を全国に発信

「国の宝は山なり」古来より森林と人との結びつきが強く、その恩恵を享受してきた秋田県ならではの視点で、「いのちの森」を育ててきた歴史から学び、新たに創造し、豊かな未来への道筋を確認・共有しあう大会とします。

■主 催 秋田県、公益社団法人国土緑化推進機構

■開催時期 令和9年 秋季  
※開催日の決定・公表は令和9年1月（予定）

■主な行事 【お手入れ行事】 秋田県立北欧の杜公園（北秋田市）  
【式典行事】 ニプロハチ公ドーム（大館市）

■大会テーマ

緑育てる小さな一歩 未来へつながる大きな希望

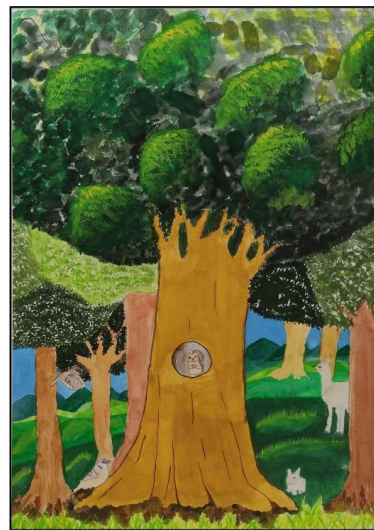
作者 大井田 雄策さん（東京都大田区）

■シンボルマーク



作者 佐藤 結理さん  
（秋田県秋田市）

■大会ポスター（原画）



作者 菊地 碧さん  
（秋田市立八橋小学校 5年）

■お手入れ行事

高校生や緑の少年団などの介添えにより、皇族殿下が天皇皇后両陛下のお手植え木に枝打ちなどのお手入れをされます。

- 主 催 秋田県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日 令和9年秋季
- 参加者 約300人（特別招待者、県内林業関係団体、スタッフ等）
- 内 容 御製やパネルなどの御覧、お手入れ等



第48回全国育樹祭（宮城県）

■式典行事

皇族殿下のおことば、緑化功労者等の表彰、緑の少年団活動の発表、メインテーマアトラクション、大会宣言などを行います。

- 主 催 秋田県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日 令和9年秋季
- 参加者 約5,000人（県外・県内参加者、出演者、スタッフ等）
- 内 容 オープニングアトラクション・式典  
エンディングアトラクション



第48回全国育樹祭（宮城県）

【併催行事】

■育林交流集会

林業関係者はもとより、次世代を担う大学生や高校生、ボランティア団体など、森林・林業に関心を持つ人たちが参加し、森林・林業が直面する課題等をテーマに基調講演やパネルディスカッションなどを行います。

- 主 催 秋田県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日 令和9年秋季（お手入れ行事の同日）
- 参加者 約300人  
（林業関係者、一般参加者、学生等）
- 内 容 基調講演、  
パネルディスカッション等



第48回全国育樹祭（宮城県）

■全国緑の少年団活動発表大会

県内及び全国から選出された緑の少年団が一堂に集い、日頃の活動について発表を行います。また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を行います。

- 主 催 秋田県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日 令和9年秋季（お手入れ行事の同日）
- 参加者 約300人（小中学生、一般参加者）
- 内 容 活動発表大会、交流集会等



第48回全国育樹祭（宮城県）

【記念行事】

■森林・林業・環境機械展示実演会

林業関係者はもとより、将来の森林づくりの担い手である高校生等や一般参加者などを対象として、全国の林業機械や環境機械メーカー等による最新機械の展示実演などを行います。

- 主 催 秋田県、一般社団法人林業機械化協会
- 開催日 令和9年秋季  
（式典行事の当日及び翌日）
- 参加者 約10,000人  
（林業関係者、一般参加者、学生等）
- 内 容 高性能林業機械等の展示実演等



第48回全国育樹祭（宮城県）

■その他の記念行事

第50回全国育樹祭の開催気運を高めるとともに、森づくりへの関心・理解を一層深めるため、広く県民が参加できる関連行事を開催します。

○懇談会（歓迎レセプション）

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者や緑化功労者等を招待して懇談会を開催します。

- 開催日 令和9年秋季（お手入れ行事と同日の夕刻）  
※開催日の決定・公表は令和9年1月頃を予定
- 参加者 約300人  
（大会会長（参議員議長）、農林水産大臣、緑化功労者等）

○国民参加の森林づくりシンポジウム（1年前プレイベント）

- 主 催 秋田県、公益財団法人森林文化協会  
公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日 令和8年12月5日（土）
- 会 場 あきた芸術劇場ミルハス
- 参加者 約300人（林業関係者、一般参加者、学生等）
- 内 容 基調講演、パネルディスカッション等

○秋田県緑の少年団活動発表大会

- 主 催 秋田県、公益社団法人秋田県緑化推進委員会
- 開催日 令和8年冬季
- 参加者 未定
- 内 容 県内緑の少年団による活動発表等

○育樹行事（広く県民が参加できる関連行事等）

※各会場については実施計画にて決定します

■お手入れ行事の概要

- 会場 秋田県立北欧の杜公園（北秋田市上杉中山沢128）
- 参加者 約300人（特別招待者、県内林業関係団体、スタッフ等）
- 概要

・皇族殿下のお手入れ会場御着

大会会長（参議院議長）、公益社団法人国土緑化推進機構理事長、秋田県知事などによりお出迎えします。

・御製やパネルなどの御覧

皇族殿下に第59回全国植樹祭の御製や第2回全国育樹祭および第59回全国植樹祭の様子やお手植え木の育成状況などをご説明します。

・お手入れ

高校生や緑の少年団などの介添えにより、皇族殿下が天皇皇后両陛下のお手植え木に枝打ちなどのお手入れをされます。



秋篠宮皇嗣殿下によるお手入れ（枝打ち）  
第48回全国育樹祭（宮城県）



秋篠宮皇嗣妃殿下によるお手入れ（施肥）  
第48回全国育樹祭（宮城県）

・お声掛け

お手入れ行事をお手伝いした高校生や緑の少年団に両殿下からお声掛けをされます。

・皇族殿下お手入れ会場御発

大会会長（参議院議長）、公益社団法人国土緑化推進機構理事長、秋田県知事などによりお見送ります。

■会場整備・設営

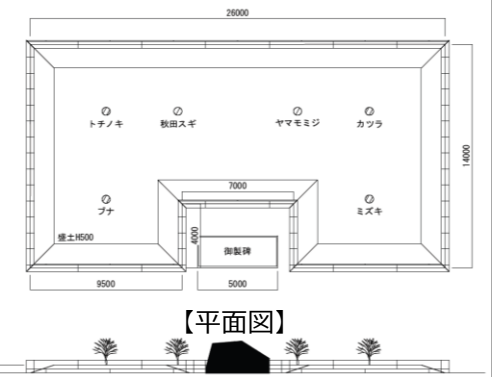
参加者席、テントなどの仮設物を設置します。仮設物の製作にあたっては、県産材を積極的に活用します。



お手入れ会場イメージ



天皇皇后両陛下のお手植え木の状況  
（秋田スギ・ブナ・トチノキ  
・カツラ・ミズキ・ヤマモミジ）



【平面図】

【正面図】

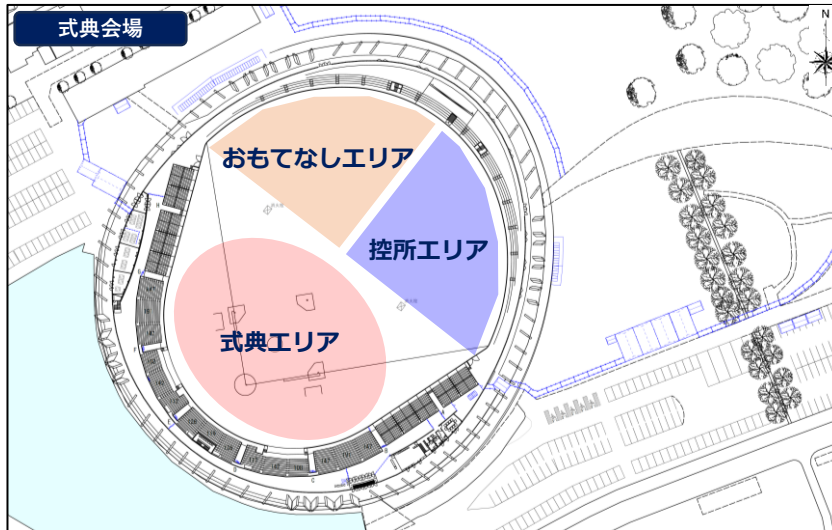
お手入れ会場現況図

■ 式典行事の概要

- **会場** ニプロハチ公ドーム（大館樹海ドーム：大館市上代野稻荷台1-1）
- **参加者** 約5,000人

区分	人数	内訳
県外参加者	約1,500人	・ 秋田県知事と公益社団法人国土緑化推進機構理事長との協議による者 ・ 各都道府県知事の推薦による者
県内参加者	約2,000人	・ 実行委員会委員長の選考による者
		・ 県内市町村長の推薦による者
		・ 一般公募
出演者・運営スタッフ等	約1,500人	・ 協賛者（個人・企業・団体）
		・ 出演団体（アトラクション・緑の少年団等）
		・ 式典音楽隊（吹奏楽隊、合唱隊）
合計	約5,000人	・ 実施本部長

● 会場計画図



ニプロハチ公ドーム外観

● 次第

項目	概要
<b>1. プロローグ</b>	
(1) オープニングアトラクション	歓迎の意を込めたアトラクションを企画
(2) 秋田県紹介映像	育樹等行事など含めて秋田県を紹介
(3) お手入れ行事（前日）紹介映像	式典前日に開催したお手入れ行事の様子を紹介
<b>2. 式典【皇族殿下御臨席】</b>	
(1) 皇族殿下御着	秋田県知事の先導
(2) 開会のことば	国土緑化推進機構 副理事長
(3) 三旗入場・緑の少年団入場	
(4) 国歌斉唱・三旗掲揚	
(5) 主催者挨拶	大会会長（参議院議長）、秋田県知事
(6) 歓迎のことば	秋田県議会議長
(7) 皇族殿下のおことば	
(8) 表彰	緑化功労者等に感謝状を贈呈
(9) 緑の贈呈	全国緑の少年団に記念品を贈呈
(10) 緑の少年団活動発表	全国緑の少年団を代表しての活動発表
(11) メインアトラクション	参加者の記憶に残る秋田県らしいアトラクションを企画
(12) 大会宣言	国土緑化推進機構 理事長
(13) 次期開催県あいさつ	神奈川県知事
(14) 閉会のことば	大館市長
(15) 皇族殿下御発	
<b>3. エピローグ</b>	
(1) エンディングアトラクション	感謝の意を込めたアトラクションを企画



第48回全国育樹祭（宮城県）

緑育てる小さな一歩 未来へつながる大きな希望

## 第50回全国育樹祭 基本計画

令和8年3月発行

編集・発行：第50回全国育樹祭秋田県実行委員会

（秋田県農林水産部全国育樹祭推進室内）

秋田県秋田市山王四丁目1-2

電話：018-860-1955